

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成28年7月21日(2016.7.21)

【公表番号】特表2015-528183(P2015-528183A)

【公表日】平成27年9月24日(2015.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2015-059

【出願番号】特願2015-520234(P2015-520234)

【国際特許分類】

F 2 1 V	29/63	(2015.01)
H 0 5 K	7/20	(2006.01)
F 2 1 S	2/00	(2016.01)
F 2 1 V	29/503	(2015.01)
F 2 1 V	29/61	(2015.01)
F 2 1 V	29/83	(2015.01)
F 2 1 V	29/76	(2015.01)
F 2 1 Y	115/10	(2016.01)

【F I】

F 2 1 V	29/63	
H 0 5 K	7/20	B
H 0 5 K	7/20	G
F 2 1 S	2/00	2 2 4
F 2 1 V	29/503	
F 2 1 V	29/61	
F 2 1 V	29/83	
F 2 1 V	29/76	
F 2 1 Y	101:02	

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月30日(2016.5.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一つまたは複数の発熱電子部品と、

熱管理システム(14)であって、前記一つまたは複数の発熱電子部品と熱を伝導するヒートシンク(20)、および複数のシンセティック・ジェット・ダイアフラム(100)と、複数のスペーサ(102)と、を備える、スタッカーセンブリであって、各一組のシンセティック・ジェット・ダイアフラム(100)が前記複数のスペーサ(102)の各スペーサ(102)により分けられて、各シンセティック・ジェットを形成し、また各スペーサ(102)が、前記シンセティック・ジェット・ダイアフラム(100)の動作中、空気が通り排出される開口(104)を有する、スタッカーセンブリを備える、熱管理システム(14)と、

を備え、

各シンセティック・ジェットが、各スペーサにより分割される対応する上部ダイアフラムと下部ダイアフラムとを含むように、前記複数のシンセティック・ジェットは、前記び複数のシンセティック・ジェット・ダイアフラム(100)と前記複数のスペーサ(102)

)とにより規定されている、

電子装置。

【請求項 2】

前記スタックアセンブリが、前記複数のシンセティック・ジェット・ダイアフラム(100)、および、前記複数のスペーサ(102)が配置されたホルダ構成部をさらに備える、請求項1に記載の電子装置。

【請求項 3】

前記ホルダ構成部の一つまたは複数の係合構造(126)と係合するように構成される少なくとも一つのクランプ板(124)と、

少なくとも一つのクランプ板(124)と前記スタックアセンブリとの間に配置された圧縮性リング(128)と、

を備える、請求項2に記載の電子装置。

【請求項 4】

前記一つまたは複数の発熱電子部品が光源(12)を備える、請求項1乃至3のいずれかに記載の電子装置。

【請求項 5】

前記ヒートシンク(20)が一つまたは複数の冷却フィン(62)を備え、

前記一つまたは複数のスペーサ(102)の前記各開口(104)が、前記一つまたは複数の冷却フィン(62)上を空気が流れるように配置された、請求項1乃至4のいずれかに記載の電子装置。

【請求項 6】

前記熱管理システム(14)が、前記複数のシンセティック・ジェット・ダイアフラム(100)動作時に空気が動く一つまたは複数の通風スロットまたはホール(22)を備える、請求項1乃至5のいずれかに記載の電子装置。

【請求項 7】

前記一つまたは複数の発熱電子部品と前記ヒートシンク(20)との間に配置された熱伝導構造を備える、請求項1乃至6のいずれかに記載の電子装置。

【請求項 8】

各シンセティック・ジェット・ダイアフラム(100)の直径が25mm未満である請求項1乃至7のいずれかに記載の電子装置。

【請求項 9】

前記スタックアセンブリが前記電子装置のねじ込みベース(86)の中に配置されている、請求項1乃至8のいずれかに記載の電子装置。